

鋼和会の皆様へ

2023年9月9日

埜野 暢

鋼和会の皆様にはすっかりご無沙汰をしております。
皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は丁度2年半前に日本ファブテックを退職し、同時に一人暮らしをしていた母親と同居するために山口県岩国市の実家へ転居をしました。在職中にお世話頂いた方々に挨拶もしないまま転居したことはいまだに申し訳なく思っております。

私は実家へ帰りすぐに就職はしたものの、母の病気により10か月で辞めてしまい、母との生活は1年3ヶ月でした。また、同じ市内の妻の両親もこの1年で次々に他界し、病院ばかりの大変な年でしたが、親を全員看取ることが出来ました。亡くなる前日まで話が出来たため、心の整理も出来て見送ることが出来たのは幸せだったと思います。

改めまして、在職中にお世話になりました皆様には心よりお礼を申し上げます。

今回は私の近況を報告させていただきます。

現在の私は、畑仕事、自治会、老人クラブで息を繋いで居ります。

畑仕事では、去年は玉葱もジャガイモも病気で失敗続きでしたが、トマト栽培だけは上手く行き、自分としては上手く収穫出来たと喜んで居ます。畑を消毒し、この秋にはジャガイモに再チャレンジで、植付けを完了しました。

長年休耕していた場所まで掘り起こして畑にしたため、特に今の時期は草が半端なく生えて1人では大変な仕事量になってしまいました。きっと腰痛の原因になります。

自治会では、昨年より役員を務める中で、毎日の通行に地域みんなが不便を感じている狭い道路があり、生活道路の拡幅案を企画し、自治会に賛同を得て、また、市議会議員も巻込んで、ようやく岩国市の土俵に載せる事が出来ました。

提案レポートを作るのは現役時を思い出すような楽しさが有りました。

私以外の地権者に土地の寄付はどう話して賛同を貰おうか…、市への提案にはまず誰を味方に付けて…、建設費用はいか程になるのか…、用水路は暗渠構造に…、土止めはこうして…、などプランが膨らみ時間を忘れて取組めました。先は長いかも知れませんが、まず290m区間の現在の4m道路を6m道路への拡幅が叶えば次に繋がると、地域への恩返しも少しは出来るかと現在の1番の目標です。

実家へ転居するとすぐに“はつらつクラブ”への入会を勧められ、最初、自分は未だ

若いとお断りをしましたが、お年寄りのお世話をする人が居なくて困っているのは是非世話役になって欲しいと頼まれ、デビューに至りました。母もお世話になったクラブです。妻も道連れに入学させました。

今日は午前中に“はつらつクラブ体育大会”があり、約120人5チームで競い見事優勝しました。因みに私は若い方から2番目です。大差を付けず僅差での優勝！予定通りでした。

こんな感じで、暇であり、暇でなしを毎日過ごしています。

山口県は自然が豊かで観光地が多い所と思います。私でも観光のご案内ができますので、こちらにお越しの折には是非ご連絡ください。

暑い夏が過ぎるとあっという間に冬に向かう予感がします。

皆様におかれましては残暑の折柄、なお一層のご自愛をお祈り申し上げます。